

こんばんわ。お世話になります。環境回復サロンえみなです。新抗酸化ミトコンドリア共振液液届きましたので、ありがとうございます。冷蔵庫に保管しました。ミトコンドリア育成会の活動に使わせて頂きます。

不思議な紙だね〜

ミトコンドリア共振紙なるものを「膝に貼ると痛みが楽になるかも」かもしれませんよ」と言われても、両膝に貼ってみました。立ち上がる動作の時や長く歩くと痛みを感じていましたが、貼って一日はそれほど効果を感じませんでした。ところが、二日目あたりから痛みがなくなりました。どうすればあの紙をもらえるのかね。不思議な紙だね。 (S・H様)

抗酸化の住宅に住んで

息子のお嫁さんから・・・トイレの網戸を開けたまま窓を閉めていたので、窓の外側に小バエが数匹くっついていて、部屋の中に入ってきてしまいました。ところが、不思議なことに小バエはくっつく回数りながらみんな床に落ちていきます。以前、義母から抗酸化

化住宅では虫が住みにくいで下に落ちて死んでいくみたいと聞いたことがありましたが、本当でした。びっくりの死んでいくのではないのですかね？なぜですか？虫は死んでいくのに人間は抗酸化住宅ではいきいきと暮らせるのはなぜですか？会田会長さん教えてください！お陰さまで、抗酸化住宅に引っ越してから子供たちの咳が止まりました。主人の花粉症も症状が治まっています。いろいろありがとうございます。

教えて〜！

殺虫剤と同じようにハエや蚊がくるくる回りながら床に落ちる。初めて体験された方はビックリするでしょうね。決して殺虫剤を壁に仕込んでいるわけではありませんので安心してください。ハエや蚊は酸化(腐敗)していく環境が大好きでこういうところを好んで集まります。蚊は人間の炭酸ガスを感知して寄ってきます。(メスの蚊)抗酸化空間はこれらの生き物にとってはとても耐えがたい空間として感知するのでしょう。そしてこの空間に入りこんだら苦しいものだからあわてて脱出しようとするのですが逃げ場がない時はくるくる回りながら落下して息絶えるようです。あえて危険な殺虫剤等を使わなくても虫の方で住み分けをしてくれているのです。抗菌・除菌・殺菌・滅菌がいかに危険か！殺す技術よりも生かす技術の抗酸化工法。これからの体験をお楽しみに生活してください。

笑みなミトコンドリア育成会

を立ち上げ、先日第一回目の集いをおこないました。作業をしながら先日のセミナーの話題で盛り上がり、抗酸化溶液の不思議なパワーと開発者会田会長さんの欲のない人柄に感心したり、皆さんの体験談を話したりしながら少人数ながら楽しく行いました。作ったミトコンドリア共振紙で感じた体験を後日ご報告いただくことをお約束してお帰りになりました。習い事をしている先生が急に腰を痛めたので、セミナーで作ってもらったセラシンのミトコンドリア共振紙を自分分が腰にあてていたのですが、すべに外して貸してあげたところ、少し経ったらすいぶん楽になったみたいです。返してもらおうとしましたが、もう少し貸してほしいと頼まれ、4月30日まで貸してあげました。当てるだけで腰がポカポカして調子がいいみたい！

(S・K様)

先日セミナーに参加した時にいただいたミトコンドリア共振紙やセラミックスを首用、足首用、腰用と体の気になるところに使用していますが、とてもよく効きます。ハンカチやスカーフを使ってその中に共振紙を挟み込んだりして巻いて使います。おしゃべり便利です。汗でぬれたら替えも用意しているのでも日に干して使います。絆創膏にかぶれやすい人はこの方法がいいと思います。米ぬか入浴剤も早速作って使用しています。昔から米ぬか美人と言われていますが、昔、肌のきれいなおばあさんがいて、その方は米ぬかを入浴していました。着物の古着の絹布を利用して、フコイダンエキスで発酵させた米ぬか入浴剤を包んでゴムで止めて、お風呂の中でモミモミ。お顔にポンポン。シワ取りに期待しています！

(N・F様)